

クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県体育協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内
TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 平成29年3月 第91号

クラブ紹介コーナー

すなばスポーツ*鳥取県トップアスリートフットサル教室



平成29年2月4日(土)、境港市民体育館で「すなばスポーツが贈る鳥取県トップアスリートフットサル教室」が、NPO法人ウルTRASポーツクラブと連携し開催されました。

フットサル日本代表 皆本 晃選手(府中アスレティックフットボールクラブ所属)と、河原 優さん(元府中アスレティックフットボールクラブ所属)をお招きし、中学1・2年生を対象にポジショニングトレーニングやシュート練習を行った後、試合形式で実践指導いただきました。

皆本選手の熱心な指導に子ども達は真剣に耳を傾け、サッカーに対する熱い思いが芽生えました。

教室の最後に皆本さんから、「今日やったことがすぐできるようになるわけではない。継続してやって行ってほしい。」と挨拶がありました。

子ども達は現役の日本代表選手から直接指導してもらい、トップクラスの技術の素晴らしさを実感し、今後のモチベーションに繋がったのではないのでしょうか。参加者の中から日本代表選手が出てくるのか楽しみです。

※この事業は、鳥取県から受託した総合型地域スポーツクラブ拠点クラブ育成モデル事業です。



連絡先
すなばスポーツ
岸本 雄司
TEL:080-6304-1241

一般社団法人 山陰リンクの会

鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業



連絡先
一般社団法人 山陰リンクの会
杉谷 哲治
TEL・FAX：0858-28-3939

平成29年2月18日(土)、鳥取県立倉吉養護学校で”鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業”で「健康太極拳」を体験しました。

倉吉養護学校在校生・OB、当クラブの会員、地域住民が参加し、太田えり子さん指導の下、太極拳と少林拳を教えていただきました。

太極拳では、まず足の動き、次に手の動きを1コマずつ教えていただき、最後に音楽に合わせて通して動いてみました。1コマずつだとできるのですが、手と足の動きが一緒になるとわけが分からなくなり皆が苦笑！太田さんから、1つ1つの動きに意味があることを聞き、なるほど～！と納得しました。

短時間ではありましたが、少林拳も教えていただき、太極拳と違い力強く切れのある動きでした。全身の筋肉を使い、しっかり呼吸を取り入れるので心身ともに健康になれるスポーツです。

見た目以上にハードなスポーツであることを実感しました。是非体験してみてください。

NPO法人ウルトラスポーツクラブ＊土屋健二サッカー教室



平成29年2月19日(日)、NPO法人ウルトラスポーツクラブ屋外練習場(スパシーヴァ)で、「土屋健二サッカー教室」が開催されました。

年中から中学3年生まで79名が参加し、ジンガやリフティングを中心に、年代別に合わせたメニューを教えていただきました。

「ジンガ」とは、土屋健二さんが考案した最強のボールキープ術で、常に足元でボールに触れ、ボールをさらす瞬間がないので、相手に囲まれても簡単には取られないのが最大の特徴です。

そのジンガの基本ともいえる足さばきをマスターし「スーパージンガ」を完成させれば鬼に金棒。複数の相手の囲まれても素早いボールタッチのジンガステップでそのまま突破できます。

ジンガステップで、君も未来のプロサッカー選手！

連絡先
NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局
川上 眞由美
TEL・FAX：0859-57-5170

奥大山ぶなの森クラブ＊総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業



平成29年2月26日（日）、江府町防災情報センターで「総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業講演会」（鳥取県主催）が開催されました。

この講演会は、平成28年11月19日に開催された「総合型地域スポーツクラブ研修会」（全クラブ対象）に参加いただいたクラブの中から、1クラブを選定し、講師の先生にクラブへ足を運んでいただき、直接運営や課題等に対するアドバイスをさせていただきました。

午前中は、講師の榎 敏弘氏（一般社団法人地域スポーツシステム研究所値域スポーツプロデューサー）を交え、クラブ理事と江府町の現状、クラブの課題、今後クラブはどうありたいのか、何が必要なのかを議論し、午後からは、江府町長、行政、会員、地域住民30名が参加し、「楽しく！体づくり なかまづくり まちづくり」をテーマに講演とグループワークを行いました。

講演・グループワークの中でクラブが行う事（キーワード）として・・・

- もう一度クラブのビジョン（立ち上げた目的）を構築し、クラブ全体で共有すること。
 - ★目標が目的となっており、本質を見失ってしまっている。
- クラブの理念に則った事業を地域住民が主体となって考えて実施すること。
 - ★クラブの将来を見据えた「町・人を育てる」こと。
- クラブで地域の新しいことに目をつけて、最大限に活かす。
 - ★例えば・・・みんなでお金を出し合って、地域の魅力ある人を事務局（パート）として雇う。
 - ⇒みんなでお金を出し合うことで、クラブへの思い・愛着が強くなる。
- 人づくり（あなた及びクラブの能力を100%発揮できる方向性を考える。）
 - ★行政主体の時代は終わった。地域住民がやりたいことをクラブが引き出していく。
- 江府町にある地域おこしのプロジェクトチームや、様々な団体や行政を巻き込んで連携・協力を得て町全体で盛り上がって行く。

江府町には、地域の活性化につなげる活動をしている団体が多くあります。様々な団体や地域住民を巻き込んで連携・協力することの大切さを参加者に理解していただきました。

参加者に、話し合いをしてもらうことで、真剣に考え、気づき、「なんかやれそう！みんなで江府町を元気にしていこう！」とみんなが前向きになり、今後クラブの飛躍が感じられた研修会でした。

連絡先
奥大山ぶなの森クラブ事務局
遠藤 敏彦
TEL・FAX：0859-75-3240